西日本の専門店ネットワーク オエステ会
今注目の新製品＆コト10選

文具のしんぷく本店
鹿児島市上之園町９－８

■「Campus × Rollbahn コラボアイテム」
周年を記念したコラボ商品。オリジナルとの“違い”とそれぞれの“らしさ”を味わえる「デザイン交換ノート」が人気。

■「ユニボール　ゼント 0.7 mmボール　シグネチャーモデル」（三菱鉛筆）
やわらかい書き心地を最大限に味わうことのできる象徴的なモデル。新色の上品なシャンパンゴールドが好評。

■「三菱鉛筆× しんぷく限定チャーム付ユニボールワン」
鹿児島愛あふれる新商品が登場。チャームは鹿児島モチーフの「桜島」「しろくま」と、しんぷく公式キャラクター・しんちゃんの３種類。

■「AIMVISION PRO　製図用シャープペンシル」（KAYOU+）
２０２５年７月デビューした新ブランド。ブレのないドローリングを実現するために設計された製図用シャープペンシル。

■「石原１０年日記」（石原出版社）
累計発行部数１６０万部。１日４行、書きたい日だけ書いているうちに、書く日がどんどん増えてくる。

■「平成レトロ文具」
親子で楽しめるキャラクター大集合。平成レトロなデザインが子どもから大人まで大人気。

■「WP Limited Edition　木軸 / 金属軸」（コクヨ）
KOKUYO WP 周年を記念して発売された限定モデル。一度手にすると手放せなくなる書き心地。

■「ピコトレシリーズ」（ソニック）
ゲーム感覚で楽しく学べるピコトレシリーズ。暗算ドリルに加えて、音で育てる英単語バージョンが新登場。

■「ペンのように持ち運べるブッククリップ」（コクヨ）
新“Campus”ブランドから登場の注目アイテム。開いたページの左右の厚みが違っていても外れにくい。

■「トライラテラルペンケース」（ラダイト）
天然皮革を使用したスリムなペンケース。内装の側面それぞれに収納ポケットを搭載。スリムなボディに見た目以上の収納力を備える。

店舗掲示板
（お知らせ・イベント情報）

◆鹿児島市内に本店、卸本町店、伊敷店の３店舗を展開。名入れや体験型のイベントなども随時開催しています。最新の情報は各店のインスタグラムで発信中。

オリジナル手帳提供
パイロット「書くことの大切さ」に協賛

株式会社パイロットコーポレーション（藤崎文男社長、東京都）は、一般社団法人日本文化教育推進機構が提供する、小学生を対象とした「書くことの大切さ」とその意義を解説する教育プログラム「書くって大切なこと」プロジェクトに協賛し、オリジナル手帳「PILOT手帳」を使用した教育プログラム「書くって大切なこと　手帳編」の提供を始める。

「書くって大切なこと手長編」の授業の様子

今回新たに提供を開始する「手帳編」は、「手書きを楽しみ、表現力を育む」をコンセプトに、基本編で学んだ「書くことの大切さ」を実践する教材として開発された授業プログラム。教材として提供される「PILOT手帳」は、子どもたちが予定や大切なことを書き留めるだけでなく、夢や目標を言葉にして書き込んだり、イラストで表現したりすることができ、楽しみながら手書きを続けるための工夫が豊富に盛り込まれている。自分のために自由に書くことで、子どもたちが考えを整理する力、自分の気持ちを言葉で表現する力など、自分自身を表現するきっかけを提供し、創造力を育むことを目指す。

文部科学省が推進するGIGAスクール構想により、教育現場では一人一台のタブレット端末が普及し、子どもたちの学習におけるタイピングの時間は増加している。一方で、教育現場からは、深い思考と理解をもたらす手書きの重要性についての関心が高まっている。

２０２３年度に開始した教育プログラムの「基本編」は、これまでに累計１万人を超える児童が実践してきた。プログラムでは、デジタルにはない手書きの温かさや、書くことが思考の整理や理解を深めることを伝え、場面に応じて手書きとタイピングを使い分ける力を育む内容となっている。

BCN AWARD 電子文具部門で最優秀賞を受賞
キングジムの2製品

株式会社キングジム（木村千代子社長、東京都）のデジタルメモ「ポメラ」DM250と電子メモパッド「ブギーボード」２製品が、BCN AWARD 2026「電子文具」部門で最優秀賞を受賞した。

BCN AWARDは、全国の量販店のPOSデータを日次で収集・集計した「BCNランキング」に基づき、パソコン関連・デジタル家電関連製品の年間（1月～12月）販売台数第1位のベンダーを表彰する賞。

同社では、これからも電子文具市場の拡大を目指し、より良い商品を提供できるよう努めていくという。

就活生と学生対象に
名古屋 丸天産業 業界と企業説明会開催

【メイブン発】株式会社丸天産業（天野敬之社長、名古屋市）は、12月12日に同社本社ビル3階で就活生らを対象とする業界と企業説明会を開催した。

「学生×文具展×インテリア／クリスマスイベント」と標榜されたこの催しには、卸店の青雲クラウンと、地元メーカーとしてシヤチハタとトヨセットが協力、午前中に1回、午後に2回のスケジュールで、3回（各45分間）に亘り、丸天産業担当者より業界紹介と協力3社の企業説明・商品紹介が行われた。

業界と企業が開催した説明会の会場

説明会終了後は、各社の出品ブース（出展14社）が展開された同フロアを巡覧、説明された商品等に実際に触れて質疑応答なども積極的に行われた。

来場者の1人は「働き方改革が言われて久しいが、一口に『はたらく環境』づくりを提供・提案する商材がこれほど多くあることを改めて知った。好奇心だけで応募したが勉強になった」と話していた。

同展には3回合計で約70余名が来場、会場では軽食・ドリンク、クリスマスプレゼントも提供されて好評を得ていた。

オカモトヤと丸天産業共同出展
メッセナゴヤ

株式会社オカモトヤ（鈴木美樹子社長、東京都）と株式会社丸天産業（天野敬之社長、名古屋市）は、11月5日～7日に開催された日本最大級異業種交流展示「メッセナゴヤ2025」に、同業では初となる共同出展を行った。

今回の共同展示では、オカモトヤの「Felln e」ブランドの理念を取り入れ、丸天産業のデザインチームがレイアウトを手掛けた「誰もが安心して働ける空間」を展開。両社の協業の軌跡と、〝人〟を中心にした新しいオフィスづくりの可能性を来場者に示した。

両社は「空間を通じて人と組織をより良くする」という共通の理念のもと、互いの強みを活かした連携を重ね、業界の枠を超えた企業間交流や共同企画を通じ「競争」ではなく「共創」による価値創造を目指してきた。今回の共同出展はその成果の一つであり、次世代のオフィス空間における新しい協業モデルの提示となった、としている。

世界堂のアートEXPOに出展
○…墨運堂

株式会社墨運堂（松井昭光社長、奈良市）は11月15、16日に東京国際フォーラムで開催された世界堂創業85周年を記念したアートイベント「SEKAI DO Art EXPO 2025」に出展した。

会場には画材・文具・額縁メーカー40社以上が出展、著名アーティストによる展示・ライブペインティング・講演会や体験型ワークショップ、若手アナログ・デジタルアーティストの作品展示など、アートの魅力を発信する多彩な企画でイベントを盛り上げ、来場者の好評を博した。

墨運堂のブース

墨運堂は新規ユーザーにアプローチする猫の肉球型の墨「墨細工　にくきゅうずみ」、若手アーティストに好評の「絵墨シリーズ」と「淡彩画用 竹和紙」などを中心に出展。画材ガチャや絵墨アート体験も行い、好評を博した。

京都で初詣と新年会を開催
○…ぼたんの会

ぼたんの会（尾嵜輝夫会長）は、1月11日に京都で初詣と新年会を開催した。

ぼたんの会の新年会

当日は京都駅に集合した後、干支の亥が祭神の「護王神社」に参拝。宮司より修祓の後、記念撮影を行った。この後会場を中京区四条の名店「京・富庵」に移して3世代8名が参加して会食を行った。

開会に先立ち尾嵜会長が「この冬はインフルエンザが大流行して今日も数名の欠席者が出たが、今年は物故者もなく1年ぶりに皆さんの元気な顔が見られたのと、当会の干支神社に参拝と新年会が出来た事を嬉しく思う。楽しく元気に会を続けていきたいので引き続き参加願いたい」と挨拶。乾杯の後、名物の「鳥の水炊きコース」を楽しみながらにぎやかに親睦と旧交を深めた。最後に会長の一本締めによる挨拶があり次回の開催を約束し散会した。

会員10人が参加して新年会
大阪文具羊の会

大阪文具羊の会は、1月7日に大阪市北区のかに道楽北新地店で、会員10人が参加して新年会を開催した。

当日は、アケボノクラウン・松本武久会長の挨拶と乾杯で始まり、和気藹々とした雰囲気の中、会食歓談、懇親を深め、エコーマインド・村田太一郎会長の閉会挨拶で閉じた。

また、5月1日に有志での親睦ゴルフを北六甲カントリー倶楽部で行うことを決定した。

当日の参加者は松本武久（アケボノクラウン会長）、松井茂浩（墨運堂会長）、村田太一郎（エコーマインド会長）、中村浩士（オープン工業部長）、中村貴弘（トンボ鉛筆大阪支店長）、清水淳（ナカバヤシ課長）、安達和史（LIHIT LAB. 常務）、森下正義（レイメイ藤井大阪支店長）、西村彦四郎（サクラクレパス社長）、橋本章男（大阪文具工業連盟専務理事）＝敬称略

参加者で記念撮影

得意先を招いて忘年パーティ
アケボノクラウン

株式会社アケボノクラウン神戸支店（窪田保徳支店長）は、12月12日午後7時から神戸市中央区の「ボナトリーチェ」で仕入れ先、得意先を招いて忘年パーティを開催した。

開宴に先立ちアケボノクラウン・松本圭司社長が「各社が得意先としっかり繋いで商売しなければならない」と挨拶して開宴、賑やかに歓談、抽選会、ジャンケン大会も行って会場を盛り上げた。

忘年パーティの会場

ライオン事務器がカタログ発刊

株式会社ライオン事務器は、「2026年版総合カタログ」を発刊した。

巻頭の特集ページでは、同社のサステナビリティに関する取り組みをピックアップ。〝「働く」を、しなやかに〟をテーマに、環境配慮商品の開発や、社会貢献活動について紹介している。

表紙デザインは、前回に引き続きキャンバス画から壁画、立体作品まで、幅広く制作しているアーティスト・NiJiSuKe（ニジスケ）氏のアート作品を採用。ライオンが凛々しくも優しく咆哮するデザインで、激しく変化する時代に立ち向かう想いを表現している。正解がないアートを使用することで、社内外・年齢を問わず個人の思いを自由に語り、フラットなコミュニケーションのきっかけになるよう願いを込めて採用した。

装丁はA4判・832ページ（WEB版は916ページ）の編集。発行部数は、7万3千部。

カタログの請求は、販売店またはライオン事務器ホームページから。https://www.lion-jimuki.co.jp/ja/support/s_purchase/catalog.html

セキセイがカタログ発刊

セキセイ株式会社は、「セキセイ総合カタログ」を発刊した。

224ページの編集で793品番の商品を掲載。表紙は2026年の干支である午馬をモチーフにしたペンシュラ アニマルペンスタンドをデザインした。

さらなる利便性や即時性の向上を目指し、常に最新の商品情報を提供できるよう努めていく。

カタログはWebでも見ることができる。